

第7回 臨床研究デザイン・医学統計ワークショップ (観察研究コース)

『臨床研究デザイン・医学統計ワークショップ』では、臨床研究計画の立案や統計解析における留意点を解説します。今回のワークショップで解説する研究デザイン・医学統計学の内容は、1) 観察研究のデザイン 2) サンプルサイズの設定 3) 関連性の指標（相対リスクやオッズ比）と交絡因子の調整法（回帰分析や層別解析）です。またSPSSを用いたデータ解析の演習、Lancet, NEJMなどの一流誌に掲載された実際の臨床研究の事例解説も行います。今回の達成目標は、観察研究を正しく実施し結果をまとめるための留意点を学び、よく使用される統計手法の知識とその実行方法を習得することです。

日 時

2017年 2月 4日（土） 13:00~18:00

会 場

慶應義塾大学医学部信濃町キャンパス
予防医学校舎3F 講堂

定 員

30名

対 象

研究者・医療職の方

講 師

阿部貴行

（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室・専任講師，同大学病院臨床研究推進センター 生物統計部門長）

中川敦夫

（慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修部門長・特任講師）

その他ファシリテーター

受講料

慶應義塾に所属の方：4,000円

医療機関・教育機関・行政機関の方：8,000円

企業の方：10,000円

申し込み方法

下記、臨床研究講習会受講管理システムwebサイトにアクセスし、

<https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>

① 慶應所属の方はご自身のkeio.jpのアドレスでログイン後、サイト内にある「講習会一覧ボタン」をクリックして、お申込みをされる講習会を選択し、受講規約を確認の上、お申込み下さい。

② keio.jpをお持ちでない方や学外の方は、臨床研究講習会受講管理システムwebサイトにお名前、メールアドレスをご登録の上、ログインしてお申込み下さい。

主 催

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

スケジュール（予定）

時 間	内 容
13:00~14:00	【デザイン】 観察研究のデザイン
14:10~15:10	【医学統計-1】 サンプルサイズの設定
15:10~15:50	エクセルを用いた演習①
16:00~17:00	【医学統計-2】 関連性の指標と交絡因子の調整法
17:10~18:00	SPSSを用いた演習②，Q & A

※スケジュールやプログラムは、当日の進行状況により変更される場合がありますので、予めご了承願います。

演習では統計ソフト（SPSS）を使いますので、事前にソフトをインストールしたパソコン持参の上、ご参加ください。



お申し込みサイトは左のQRコードから

お問い合わせ先：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 教育研修事務局
(keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp) 内線61930